



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年1月26日

上場会社名 株式会社日立国際電気 上場取引所 東
 コード番号 6756 URL <http://www.hitachi-kokusai.co.jp>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 佐久間 嘉一郎
 問合せ先責任者 (役職名) CSR本部長 (氏名) 堀内 啓 TEL 03-6734-9401
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	111,122	△16.3	5,966	△53.5	5,477	△56.7	3,584	△59.1	3,632	△58.7	3,401	△56.5
28年3月期第3四半期	132,781	16.6	12,832	36.2	12,635	41.8	8,766	27.3	8,799	28.8	7,820	△22.3

「営業利益」には、当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しております。「調整後営業利益」は、売上収益から、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標であります。

本ページ以外では「営業利益」「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「調整後営業利益」「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しております。

上表のほか、連結経営成績に関する指標として、添付資料11ページ「3. 要約四半期連結財務諸表（6）セグメント情報」で、「受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益」を開示しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	35.36	—
28年3月期第3四半期	85.66	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	192,302	95,240	95,079	49.4	925.76
28年3月期	174,569	96,087	95,964	55.0	934.35

本ページ以外では「親会社の所有者に帰属する持分」を「親会社株主に帰属する持分」と表示しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	26.00	40.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	16.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	△4.3	13,600	△15.7	11,700	△30.1	7,700	△40.6	7,700	△40.8	74.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	105,221,259株	28年3月期	105,221,259株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,517,133株	28年3月期	2,514,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	102,705,720株	28年3月期3Q	102,718,079株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 継続企業の前提に関する注記	11
(6) セグメント情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は、新興国においては経済成長の停滞や減速が継続し、堅調に推移していた米国経済においても先行きの見通し難さを見せはじめ等、世界経済全体としては不透明な状況が継続しました。国内経済においては、関係市場の規模に縮小傾向が見られました。

このような状況の中で、当社グループの経営成績は、受注高は131,114百万円(前年同期比8.9%増)、売上収益は111,122百万円(前年同期比16.3%減)、調整後営業利益は5,966百万円(前年同期比53.5%減)、E B I Tは5,366百万円(前年同期比57.0%減)、親会社株主に帰属する四半期利益は3,632百万円(前年同期比58.7%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別営業状況は次のとおりであります。

【映像・通信ソリューション】

映像・通信ソリューションセグメント(無線通信システム、情報処理システム、放送システム、監視システム・画像処理等)では、国内における市場規模の縮小に伴う競争激化の進展、新興国における政情不安や景気低迷等により、売上収益は47,705百万円となり、前年同期に比べ10,825百万円(18.5%)減少しました。売上収益の減少により、調整後営業損益は2,937百万円の損失となりました(前年同期は調整後営業損失1,307百万円)。E B I Tについては、公正取引委員会による調査が行われている消防救急デジタル無線機器の納入に係る取引について将来発生する可能性に備えた費用を計上したこともあり、3,928百万円の損失となり、前年同期に比べ悪化しました(前年同期はE B I T1,969百万円の損失)。

【成膜プロセスソリューション】

成膜プロセスソリューションセグメント(半導体製造装置等)では、売上収益は62,705百万円となり、前年同期に比べ10,895百万円(14.8%)減少し、売上収益の減少により、調整後営業利益は9,295百万円となり、前年同期に比べ4,999百万円(35.0%)減少し、E B I Tについても9,381百万円となり、前年同期に比べ5,008百万円(34.8%)減少しました。これは、前期の半導体メーカーによる設備投資が前半に集中したことによるものですが、当期においても製品、サービスともに堅調な受注が持続しており、通期においては前期を上回って推移する見通しです。

【その他】

その他のセグメントでは、売上収益は712百万円となり、前年同期に比べ61百万円(9.4%)増加しました。調整後営業利益は292百万円となり、前年同期に比べ143百万円(96.0%)増加し、E B I Tも305百万円となり、前年同期に比べ153百万円(100.7%)増加しました。

(注) E B I T(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)は、税引前四半期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて17,733百万円増加し、192,302百万円となりました。流動資産は12,037百万円増加し、148,676百万円となりました。非流動資産は5,696百万円増加し、43,626百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて18,580百万円増加し、97,062百万円となりました。流動負債は17,462百万円増加し、73,390百万円となりました。非流動負債は1,118百万円増加し、23,672百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末に比べて847百万円減少して95,240百万円となり、親会社株主帰属持分比率は49.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は51,647百万円となり、前連結会計年度末より4,080百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動に関するキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は9,762百万円の増加となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の減少7,246百万円、営業債務及びその他の債務の増加6,609百万円、四半期利益3,584百万円、減価償却費及び償却費2,581百万円等による資金の増加が、たな卸資産の増加14,652百万円等による資金の減少を上回った結果によるものです(前年同期は5,880百万円の増加)。

(投資活動に関するキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は3,113百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得2,464百万円、子会社株式の取得493百万円等によるものです(前年同期は2,967百万円の減少)。

(財務活動に関するキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,537百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払3,690百万円、長期借入金の調達650百万円等によるものです(前年同期は7,100百万円の減少)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び現時点の経済環境や需要動向を踏まえ、前回発表予想(2016年10月26日公表)を以下のとおり修正いたしました。

なお、本日(2017年1月26日)公表しました「早期退職優遇制度の特別募集実施について」に関し、本施策の業績予想に与える影響等につきましては、今後の応募状況等を踏まえて精査し、開示いたします。

2017年3月期通期連結業績予想値の修正(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上収益	調整後 営業利益	税引前利益	当期利益	親会社株主に帰 属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	169,000	13,600	12,700	8,500	8,500	82 76
今回発表予想(B)	173,000	13,600	11,700	7,700	7,700	74 97
増減額(B-A)	4,000	—	△1,000	△800	△800	—
増減率(%)	2.4	—	△7.9	△9.4	△9.4	—
(ご参考)前期実績 (2016年3月期)	180,740	16,141	16,746	12,962	12,998	126 54

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	47,567	51,647
営業債権及びその他の債権	50,192	43,474
たな卸資産	37,120	51,992
その他の流動資産	1,760	1,563
流動資産合計	136,639	148,676
非流動資産		
有形固定資産	21,503	26,898
無形資産	2,525	3,925
その他の金融資産	10,049	8,575
繰延税金資産	2,784	3,347
その他の非流動資産	1,069	881
非流動資産合計	37,930	43,626
資産の部合計	174,569	192,302

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	733	1,408
営業債務及びその他の債務	36,600	48,185
未払費用	11,087	9,169
その他の金融負債	222	1,044
未払法人所得税	2,032	1,430
前受金	3,227	10,629
引当金	1,972	1,379
その他の流動負債	55	146
流動負債合計	55,928	73,390
非流動負債		
長期借入金	101	687
その他の金融負債	—	849
退職給付に係る負債	22,083	21,787
引当金	94	52
その他の非流動負債	276	297
非流動負債合計	22,554	23,672
負債の部合計	78,482	97,062
資本の部		
親会社株主に帰属する持分		
資本金	10,058	10,058
資本剰余金	17,534	16,878
利益剰余金	68,088	68,023
その他の資本の構成要素	3,022	2,863
自己株式	△2,738	△2,743
親会社株主に帰属する持分合計	95,964	95,079
非支配持分	123	161
資本の部合計	96,087	95,240
負債・資本の部合計	174,569	192,302

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(四半期連結累計期間)

(要約四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上収益	132,781	111,122
売上原価	△93,483	△80,419
売上総利益	39,298	30,703
販売費及び一般管理費	△26,466	△24,737
その他の収益	293	186
その他の費用	△895	△1,144
金融収益	270	363
金融費用	△33	△5
持分法による投資損益	0	—
受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益	12,467	5,366
受取利息	179	129
支払利息	△11	△18
税引前四半期利益	12,635	5,477
法人所得税費用	△3,869	△1,893
四半期利益	8,766	3,584
四半期利益の帰属		
親会社株主	8,799	3,632
非支配持分	△33	△48
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	85.66	35.36
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	8,766	3,584
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	220	△29
確定給付制度の再測定	—	2
純損益に組み替えられない項目合計	220	△27
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,166	△152
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	—	△4
持分法によるその他の包括利益	0	—
純損益に組み替えられる可能性がある項目合計	△1,166	△156
その他の包括利益合計	△946	△183
四半期包括利益	7,820	3,401
四半期包括利益の帰属		
親会社株主	7,852	3,474
非支配持分	△32	△73

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

	親会社株主に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定
2015年4月1日残高	10,058	17,661	59,609	3,858	3,876	2,523
四半期利益			8,799			
その他の包括利益				220	△1,167	
剰余金の配当			△4,520			
非支配持分の取得及び処分		△125			24	1
自己株式の取得						
自己株式の処分						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替						
2015年12月31日残高	10,058	17,536	63,888	4,078	2,733	2,524

(単位:百万円)

	親会社株主に帰属する持分				非支配持分	資本の部合計
	その他の資本の構成要素		自己株式	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	合計				
2015年4月1日残高	—	10,257	△2,700	94,885	137	95,022
四半期利益				8,799	△33	8,766
その他の包括利益		△947		△947	1	△946
剰余金の配当				△4,520	△23	△4,543
非支配持分の取得及び処分		25		△100	△38	△138
自己株式の取得			△35	△35		△35
自己株式の処分						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替						
2015年12月31日残高	—	9,335	△2,735	98,082	44	98,126

(単位:百万円)

	親会社株主に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定
2016年4月1日残高	10,058	17,534	68,088	4,105	1,297	△2,380
四半期利益			3,632			
その他の包括利益				△29	△127	2
剰余金の配当			△3,697			
非支配持分の取得及び処分		△656			△1	
自己株式の取得						
自己株式の処分						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替						
2016年12月31日残高	10,058	16,878	68,023	4,076	1,169	△2,378

(単位:百万円)

	親会社株主に帰属する持分				非支配持分	資本の部合計
	その他の資本の構成要素		自己株式	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	合計				
2016年4月1日残高	—	3,022	△2,738	95,964	123	96,087
四半期利益				3,632	△48	3,584
その他の包括利益	△4	△158		△158	△25	△183
剰余金の配当				△3,697	△6	△3,703
非支配持分の取得及び処分		△1		△657	117	△540
自己株式の取得			△5	△5		△5
自己株式の処分						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替						
2016年12月31日残高	△4	2,863	△2,743	95,079	161	95,240

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	8,766	3,584
四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	2,513	2,581
法人所得税費用	3,869	1,893
金融収益及び金融費用	△405	△469
持分法による投資損益	0	—
営業債権及びその他の債権の増減	9,012	7,246
たな卸資産の増減	1,698	△14,652
営業債務及びその他の債務の増減	△13,298	6,609
引当金及び退職給付に係る負債の増減	△436	△960
その他	△3,791	6,800
小計	7,928	12,632
利息の受取	185	135
配当金の受取	82	53
利息の支払	△18	△14
法人所得税の支払	△2,297	△3,044
営業活動に関するキャッシュ・フロー	5,880	9,762
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△2,818	△2,464
有形固定資産の売却	221	39
無形資産の取得	△420	△251
その他の金融資産の取得	—	△2
その他の金融資産の売却	186	—
子会社株式の取得	△112	△493
長期貸付金の貸付	△12	△4
その他	△12	62
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△2,967	△3,113

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減	△2,370	604
長期借入金の調達	55	650
長期借入金の返済	△33	△53
配当金の支払	△4,510	△3,690
自己株式の増減	△35	△5
非支配持分株主からの子会社持分取得	△207	△43
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△7,100	△2,537
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△561	△32
現金及び現金同等物の増減額	△4,748	4,080
現金及び現金同等物の期首残高	46,870	47,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,122	51,647

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	映像・通信 ソリューション	成膜プロセス ソリューション	計			
売上収益						
外部顧客への売上収益	58,530	73,600	132,130	651	—	132,781
セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	2,690	△2,690	—
計	58,530	73,600	132,130	3,341	△2,690	132,781
セグメント利益又は損失 (△)	△1,969	14,389	12,420	152	△105	12,467
受取利息	—	—	—	—	—	179
支払利息	—	—	—	—	—	△11
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	12,635

(注) 1. その他には、施設管理サービス、印刷業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△105百万円は、販売費及び一般管理費の配賦差異等△345百万円、未実現損益調整額291百万円(成膜プロセスソリューションのセグメント利益から控除した未実現損益調整額785百万円を除く)、その他△51百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	映像・通信 ソリューション	成膜プロセス ソリューション	計			
売上収益						
外部顧客への売上収益	47,705	62,705	110,410	712	—	111,122
セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	2,949	△2,949	—
計	47,705	62,705	110,410	3,661	△2,949	111,122
セグメント利益又は損失 (△)	△3,928	9,381	5,453	305	△392	5,366
受取利息	—	—	—	—	—	129
支払利息	—	—	—	—	—	△18
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	5,477

(注) 1. その他には、施設管理サービス、印刷業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△392百万円は、販売費及び一般管理費の配賦差異等△422百万円、未実現損益調整額△60百万円(成膜プロセスソリューションのセグメント利益から控除した未実現損益調整額△727百万円を除く)、その他90百万円であります。